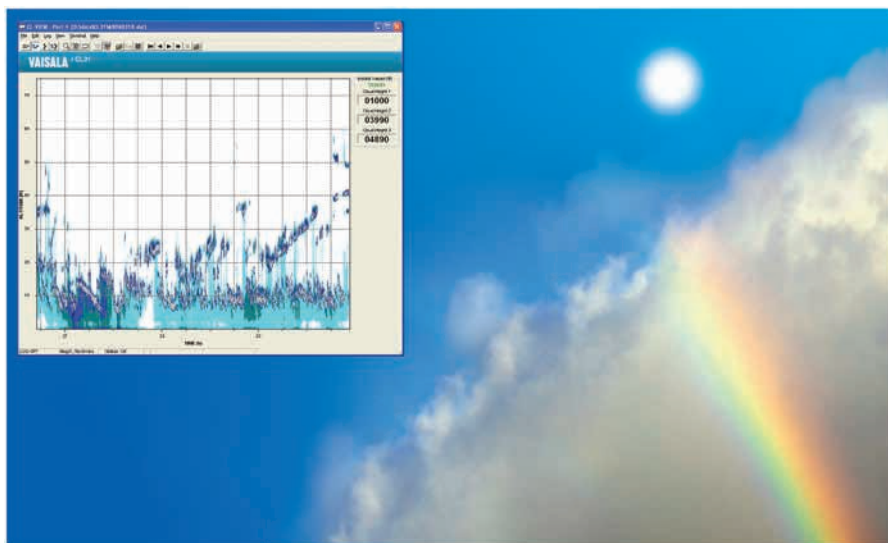


CL-VIEW グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) シーロメータ用



CL-VIEWは、シーロメータユーザー向けのヴァイサラの最新版グラフィカル・インターフェースです。

特長

- 他のWindowsベースのアプリケーションを実行しながら、複数の雲底計からのデータを取得して表示
- リアルタイムのデータを取得し表示しながら、保存済みデータを表示
- 雲底データとボックスキャッチャプロファイルをわかりやすいグラフィック形式で表示
- 複数のユーザーインターフェース画面を選択可能
- 内部ターミナルプログラム経由のメンテナンスアクセス
- スカイコンディション・ウィンドウ

CL-VIEW グラフィカル・ユーザー・インターフェースは、ヴァイサラのCL51、CL31、CT25K、およびCT75Kレーザー・シーロメータ用に設計された独自のデータの収集、保存、および表示用プログラムです。シーロメータのモデルCT12KおよびLD40も部分的にサポートされています。

CL-VIEWプログラムは、Microsoft® Windows® 7、Windows Vista®、またはそれ以前のオペレーティング・システムを搭載したパソコンで稼働し、グラフィカル・ユーザー・インターフェースのあらゆる便利な機能を提供します。メニュー、オプション画面、アイコン、およびヘルプテキストを利用してプログラムを素早く簡単に使用することができます。シーロメータとパソコンとの通信は、直接のRS-232シリアル接続または長距離の場合はモデムを介して接続されます。

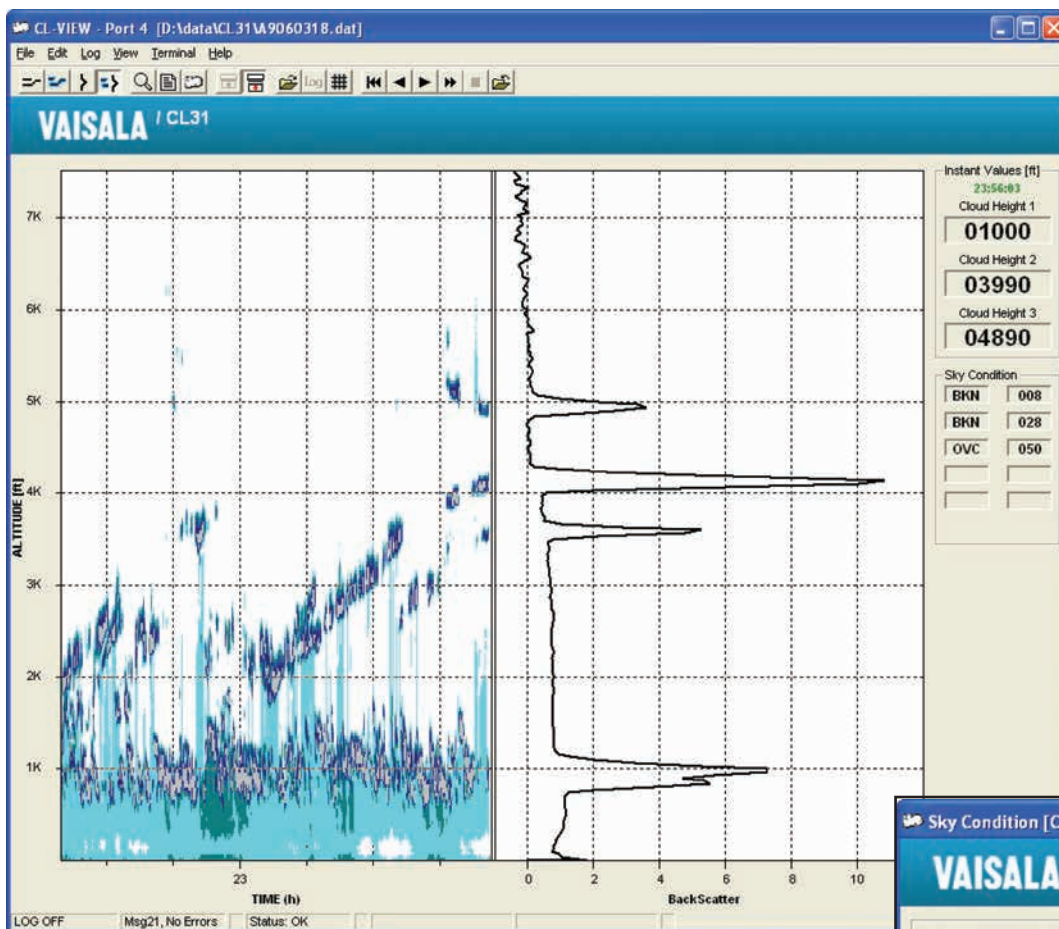
CL-VIEWは、データの受信、記録、可視

化、および解析のために最適設計されています。このソフトウェアは、非常に柔軟性があり、オペレータのニーズに合わせて設定できます。

グラフィック表示には、雲の検知、雲底、およびボックスキャッチャプロファイル・グラフが含まれます。3つすべてのグラフで、数値による雲底の情報、シーロメータの状態、ログの状態、および日時が表示されます。

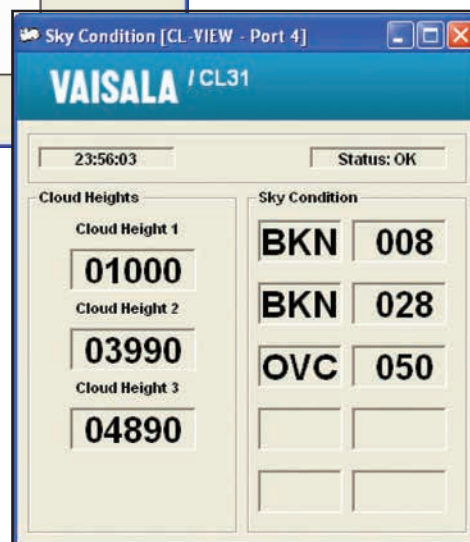
シーロメータにスカイコンディション・オプションが装備されている場合、このメッセージの内容をメインウィンドウまたは別のウィンドウで表示できます。雲底の高さおよび情報は、テキストまたは記号で表示されます。

CL-VIEWには内部ターミナルプログラムが備わっており、それを使用してシーロメータの状態をチェックしたり、シーロメータの内部パラメータの変更ができます。



雲底は、プロットグラフとして表示され、色は該当する高度から戻される信号の強度に比例します。バックスカッタープロファイルは、リアルタイムに平均モードで線グラフとして表示されます。また、両方のモードを同時表示もできます。

スカイコンディション・ウィンドウは、雲底の高さと雲量の状態をテキスト、数値、またはグラフィック形式で表示します。



システム要件

メインメモリ 32MB、ハードディスク空き容量 50MB、Microsoft® Windows® 95、Windows® 98、Windows NT®、Windows® 2000、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、またはWindows® 8.1。

VAISALA

www.vaisala.co.jp

詳細は以下よりお問い合わせください。
weathersales.japan@vaisala.com

Ref. B210506JA-C ©Vaisala 2016

本カタログに掲載される情報は、ヴァイサラと協力会社の著作権法、各種条約及びその他の法律で保護されています。私的利用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（複製、送信、頒布、保管等を含む）をすることは、事前に当社の文書による許諾がない限り、禁止します。仕様は予告なく変更されることがあります。本カタログは英文カタログの翻訳版です。翻訳言語に不明瞭な記述が発生する場合は、原文である英文カタログの内容が優先されます。

